

1：今年度の iPad の活用目標と活用状況

ipad を使用してから4か月が経ちました。学校では、教科などの学習場面や日常生活でのコミュニケーションや休み時間の楽しみというように様々な場面で ipad を使用しています。特に、コミュニケーションに関して双方向でのやり取りができるように今後も考えながら利用していきたいと考えています。また、寄宿舎での余暇としての利用については、集団生活の日課の中で、利用時間を守りながら使用することができています。

今後は場面で区切った使用ではなくこれまで以上に学校生活一日の流れを意識して ipad を使用していけたらと考えています。

2：現在活用しているアプリケーション

コミュニケーションで活用するにあたり、(一台に) インストールしているアプリは、

- ・絵カードコミュニケーション
- ・ねえ、きいて
- ・voice4U
- ・penultimate

です。

要求を引き出す時には、「ねえ聞いて」や「絵カードコミュニケーション」を使用しています。児童生徒に言葉だけでは伝わりにくい場合や工程表や手順表を提示するときには手書きメモツールである penultimate を使用することで伝えるようにしています。penultimate は比較的短時間で写真も貼ることができるため(あらかじめ写真を保存しておかなければなりません)、児童生徒に提示するときにとっても重宝しています。

その他、別の ipad に「ドロップトーク」もインストールしています。

教科や自立活動では、

- ・筆順辞典(正しい筆順で文字を練習し、その後文字のバランスを考えて字を書くのに使用)
- ・漢字練習
- ・モジルート
- ・ナゾルート
- ・数字なぞり

などを使用しています。

余暇(寄宿舎で使用頻度が高いアプリです)

やってみよう(しまじろうと一緒にゲームをするアプリです)

太鼓の達人

を使用しています。